



お知らせ

平成 21 年度後期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

放射光科学研究施設長 若槻壮市

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますので応募下さいませようお願いします。

応募方法が変更になっています。応募資料は電子ファイル（ワード、テキスト又はPDF等）をメールに添付してお送り下さい。

記

1. 開催期間 平成 21 年 10 月～平成 22 年 3 月
2. 応募締切日 平成 21 年 6 月 19 日（金）
[年 2 回（前期と後期）募集しています]
3. 応募書類記載事項（A4 判、様式任意。）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先（データをメールに添付して送付）
放射光科学研究施設 主幹秘書室 森 史子
Email: pf-sec@pfqst.kek.jp
TEL: 029-864-5196

なお、旅費、宿泊費、日当については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当たり上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

Photon Factory Activity Report 2008 ユーザーレポート執筆のお願い

PFACR2008 編集委員長 岩野 薫 (KEK・PF)

物質構造科学研究所・放射光科学研究施設（Photon Factory）では、施設の活動報告集として毎年 Photon Factory Activity Report (PFACR) を発行しております。PFACR は、放射光科学研究施設の概要、年間の運転状況、新設ビームラインの紹介、光源加速器の R&D で得られた成果などについての報告書であるとともに、PF でユーザーの皆様が当該年度に実施された実験課題で得られた新しい結果の報告の場であり、広く国内外に配布して PF の活動を伝えて参りました。2008 年度（2008 年 4 月～2009 年 3 月）の成果をまとめる PFACR2008 は本年秋の発行を予定して編集作業を開始致しました。つきましては、皆様が過去 1 年程度の間 PF で実施された研究をユーザーレポートとして収集したいと考えておりますので、皆様の研究成果をレポートとして是非お送り下さるようお願い申し上げます。皆様の寄稿が PF の研究活動を計る重要な物差しであり、また PF を支援して頂き、ひいては皆様の研究環境の改良にも繋がるものと考えております。

2008 年度に PF で実験を行った全てのユーザーの方にレポートを寄稿して頂くのが基本ですが、データ解析あるいは解釈に時間を要しますので、必ずしも 2008 年度に限定せず、それ以前の実験結果の報告でも結構です。

PFACR は、Part-A の Highlights and Experimental Facilities と Part-B のユーザーの皆様からの研究報告（ユーザーレポート）に分かれており、PFACR2001 から Part-B は CD-ROM のみでの出版となっております。PFACR2003～2007 は PF の Web ページ、<http://pfwww.kek.jp/pfacr/index.html> でご覧頂けます。

ユーザーレポートの原稿や電子ファイルの準備・投稿要領は下記ホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

PFACR2008 ホームページ：

<http://pfwww.kek.jp/acr2008/editj.html>

原稿締め切り：5 月 29 日（金）

多くのユーザーの皆様からのレポートをお待ちしております。

また、Part-A には出版物リストを付けています。これは PF で行われた研究を基に執筆された論文リストであると共に、PF の活動のバロメータでもあります。未登録論文は、

http://pfwww.kek.jp/users_info/users_guide/pubdb.html から登録をして下さい。以前に出版されたものでも結構です。是非登録をお願い致します。

尚 PFACR2008 についてのお問い合わせは、PF 秘書室（TEL:029-864-5196, E-mail:pf-sec@pfqst.kek.jp）までお願い致します。

実験ホール内・共同利用者控室での 無線 LAN 使用に関して

放射光科学第一研究系 濁川和幸
小菅 隆

4月より実験ホール内、共同利用者控室で無線LAN (SSID:tsubaki) が使用可能になっております。この無線LANは宿泊施設で使用可能な無線LANと同じ物です。従って、使用するには「共同利用者支援システム」からの申請 (MACアドレスの登録) が必要となります。申請から完了までには概ね1週間程度の期間が必要となりますので、利用を希望される方は早めにご登録をお願い致します。

利用者向け PC とプリンターの 使用上の注意について

加速器第七研究系 三科 淳
放射光科学第一研究系 濁川和幸

PF 及び PF-AR には、共同利用者が利用可能な IBM (株) の PC やリコー (株) のプリンター装置群が設置されておりますが、これらは計算科学センター管理の共通情報システムの新規導入に伴い、PF 施設に配備されているもので

す。これらの機器をご利用いただく上での注意点について、以下申し述べますので宜しくご留意の上ご利用下さい。

1) PC の利用に際して

PF 実験ホールならびに PF-AR NE/NW 実験棟に設置された日本語版 PC には、それぞれ自動修復機能を搭載しております。当該機能は、PC が電源を落とされた際などに C ディレクトリについて、初期状態に復元する機能ですので、一定期間保存したいファイルなどは必ず D ディレクトリの方にセーブされる様をお願いします。

また、週に一度 Windows 更新プログラムの適用を自動的に行うために、毎週火曜日午前 2 時 50 分から午前 3 時 30 分までの間 (最大) は使用できない状態になります。

更に、毎週月曜日午前 2 時 50 分から午前 3 時 30 分までの間は、ウイルス検知ソフトウェアの完全スキャン処理の実行のため、十分に使用できない状態が生じます。

以上のことに付き、その目的をご理解いただきまして、当該時間帯における PC の使用禁止状態についてご協力を宜しくお願いいたします。

2) 実験ホール内等の Printer の利用に際して

この 4 月より、実験ホール内や共同利用者居室での無線 LAN (SSID:tsubaki) 使用が可能ですが、設置されているプリンターは PF クラスタ以外以外の PC 等からの直接印刷は出来ません。このため、無線 LAN に接続した NotePC 等

からの印刷は下記のプリントサーバー経由で行って下さい。

プリントサーバー：prtsv1pf.kek.jp

詳細につきましては、次の URL をご参照の上ご利用下さい (<http://pfwww.kek.jp/pf-printer/>)。

なお、プリンターに障害などが発生した際には、測定器運転当番にお知らせ下さい。特に、用紙づまりについても、状況を悪化させてしまう場合もあり得ますので、勝手に復旧させることなく必ず測定器運転当番までご連絡ください。皆様のご協力をお願いいたします。

その他疑問の点は、運用担当者である三科 (Atsushi. MISHINA@kek.jp) もしくは濁川 (kazuyuki.nigorikawa@kek.jp) までメールにてお問い合わせ下さい。

IP リーダーの保存先ファイルへの アクセス方法について

加速器第七研究系 三科 淳

旧放射光計算機システムの撤去に伴い、IP リーダー (放射光実験ホール側室内の BAS2500、および PF-AR リング NE 棟内の BAS200) 上のファイルの保存先であるファイルサーバへのアクセス方法が変更となりますので、以下の点にご注意下さい。

新しいアクセス方法では、各 PC 上からの samba アクセスを可能としていますので、お使いの PC 上でコンピュータの検索機能で、ファイルサーバ (basfilespf.kek.jp) にアクセスして、接続後にポップアップされる認証ウィンドウにて、所定の ID とパスワードを入力すれば BAS システムのホームディレクトリが見つかります。その後の操作は自明ですので省略いたします。その際に入力する ID とパスワードは、IP システム管理担当者である岸本俊二氏 (syunji.kishimoto@kek.jp) にお尋ね下さい。

なお、当該サーバへのアクセスは、PF クラスタからのみ可能としておりますので、無線 LAN などからの接続は出来ませんこととお断りいたします。

また、機構外からのアクセスのために、共通情報システム上にも同様な内容を保存 (完全同期ではない) しています。当該ファイルへのアクセスを希望される利用者の方は、計算科学センター管理の共通情報システム上のアカウントを申請し、システムの利用者 ID を交付される必要がありますが、その場合は計算科学センター事務室に書面で申請書を提出する必要があります。

加えてその際に、受入職員ならびに PFCS サブ・ワークグループ管理者 (三科) のサインを必要としますので、その点もご留意を願います。

総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科物質構造科学専攻 大学院説明会及び学生募集のお知らせ

総合研究大学院大学（総研大）は、「大学共同利用機関」の高度な研究環境を活用した大学院大学です。学部を持たない大学院だけの大学で、独創的・国際的な学術研究の推進や先導的学問分野の開拓に対応する研究者の養成を目的としています。

物質構造科学専攻は高エネルギー加速器科学研究科に属し、基盤共同利用研究機関としては、高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所が対応しています。博士5年教育（5年一貫制）と博士後期3年教育コースを準備しています。物質構造科学専攻では、物質構造科学研究所において、世界最先端のビームの発生と加工に関する技術開発研究や新しい利用研究手法の開発、先端的利用研究を行っている研究者の指導の下に、その将来を担い、かつその発展に貢献する有為の人材の養成を目的としています。新しいことにチャレンジし、世界に飛び出していく意欲のある方の参加を期待しています。

物質構造科学専攻 専攻長 下村 理

物質構造科学専攻のHP：<http://pfwww.kek.jp/sokendai/>

大学院説明会

下記の通り高エネルギー加速器科学研究科大学院説明会を開催いたします。興味をお持ちの方は是非ご参加下さい。

第1回 日時：5月30日（土）午後1時～5時

場所：梅田スカイビル会議室（大阪市北区）

22階会議室F

<http://www.skybldg.co.jp/convention/s-room.html>

研究科紹介◆飯田厚夫

リニアコライダーの超伝導加速技術◆早野仁司

Bファクトリーの挑戦◆増澤美佳

動き出したJ-PARC：中性子科学への招待◆神山 崇

放射光が拓く生命科学◆若槻壮市

素粒子、原子核、宇宙の理論研究の最前線◆北澤良久

素粒子、原子核、宇宙の実験研究の最前線◆羽澄昌史

第2回^{*)} 日時：6月4日（木）午前10時～

場所：高エネルギー加速器研究機構

国際交流センター

<http://www.kek.jp/ja/index.html>

研究科紹介◆飯田厚夫

ビーム物理が拓く将来の加速器◆大見和史

Bファクトリーの挑戦◆増澤美佳

固体物理のフロンティア◆門野良典

放射光が拓く生命科学◆加藤龍一

素粒子、原子核、宇宙の理論研究の最前線◆北澤良久

素粒子、原子核、宇宙の実験研究の最前線◆羽澄昌史

第3回 日時：6月6日（土）午後1時～5時

場所：秋葉原コンベンションホール（千代田区外神田）カンファレンスフロア5B

<http://www.akibahall.jp/data/outline.html>

研究科紹介◆飯田厚夫

リニアコライダーの超伝導加速技術◆早野仁司

Bファクトリーの挑戦◆増澤美佳

放射光ナノサイエンスの最前線◆小野寛太

放射光が拓く生命科学◆若槻壮市

素粒子、原子核、宇宙の理論研究の最前線◆北澤良久

素粒子、原子核、宇宙の実験研究の最前線◆羽澄昌史

*題目・講師は変更となる場合がありますのでご了承下さい。

いずれも申し込み等は不要です。当日直接会場までお越しください。講演に引き続き、志望研究室・研究者訪問（6月4日）、学生・教員交流アワー（5月30日、6月6日）を企画しています。

^{*)}第2回は、第20回夏期実習（6月1日～6月3日開催）の翌日に開催されます。

詳細については<http://www.kek.jp/sokendai/>をご覧ください。

総研大物質構造科学専攻学生募集

平成21年10月入学生及び平成22年4月入学生募集概要

1. 募集人数

入学課程	募集人数	
	2009（平成21） 年度10月入学	2010（平成22） 年度4月入学
5年一貫制博士課程	若干名	3名
博士後期課程	若干名	若干名

2. 願書受付期間

5年一貫制博士課程・博士後期課程（第1回募集）：

2009（平成21）年7月24日（金）から7月30日（木）

博士後期課程（第2回募集）：

2010（平成22）年1月5日（火）から1月8日（金）

3. 試験日程

第1回 平成21年8月31日（月）～9月8日（火）

第2回 平成21年1月27日（水）～2月4日（木）

日程の詳細はホームページ等でお知らせします。

4. 選抜の方法

5年一貫制博士課程：書類選考と学力検査及び健康診断により行う。

博士後期課程：書類選考と学力試験（面接）及び健康診断により行う。

5. 募集要項請求先

（入学者募集要項は平成21年5月頃完成予定です。）

〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1

高エネルギー加速器研究機構

研究協力課教育・研究支援室大学院教育係

TEL 029-864-5128 e-mail: kyodo2@mail.kek.jp

人事異動・新人紹介

発令年月日	氏名	現職	旧職
H21. 3. 16	平野 馨一	物構研 放射光科学第二研究系 准教授	物構研 放射光科学第二研究系 講師
H21. 4. 1	稲田 康宏	立命館大学生命科学部 教授	物構研 放射光科学第一研究系 准教授
H21. 4. 1	佐藤康太郎	加速器第七研究系 教授	加速器第四研究系 教授
H21. 4. 1	前澤 秀樹	物構研 放射光科学第一研究系 教授	放射光源研究系 教授
H21. 4. 1	三橋 利行	加速器第六研究系 教授	放射光源研究系 教授
H21. 4. 1	山本 樹	物構研 放射光科学第一研究系 教授	放射光源研究系 教授
H21. 4. 1	尾崎 俊幸	加速器第七研究系 講師	加速器第二研究系 講師
H21. 4. 1	本田 洋介	加速器第七研究系 助教	加速器第四研究系 助教
H21. 4. 1	岡本 渉	名古屋大学工学部 技術職員	物構研 放射光科学第一研究系 技師補
H21. 4. 1	武藤 俊哉	加速器第七研究系 博士研究員	加速器第四研究系 博士研究員
H21. 4. 1	朝倉 大輔		物構研 放射光科学第一研究系 博士研究員
H21. 4. 1	鎌倉 望	日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門 特定課題推進員	物構研 放射光科学第一研究系 博士研究員
H21. 4. 1	小林 幸則	加速器第七研究系 教授	放射光源研究系 准教授
H21. 4. 1	内山 隆司	加速器第七研究系 技師	放射光源研究系 技師補
H21. 4. 1	亀卦川卓美	物構研 放射光科学第二研究系 講師	物構研 放射光科学第二研究系 助教
H21. 4. 1	足立 純一	物構研 放射光科学第一研究系 研究機関講師	物構研 放射光科学第一研究系 助教
H21. 4. 1	丹羽 尉博	物構研 放射光科学第二研究系 特別技術専門職	物構研 放射光科学第一研究系 研究員（産学連携）

予 定 一 覧

2009 年

5月29日	PF Activity Report 2008 ユーザーレポートアップロード締切
5月30日	総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科大学院説明会 (大阪梅田スカイビル)
6月1日～3日	高エネルギー加速器研究機構 総合研究大学院大学「夏期実習」
6月4日	総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科大学院説明会 (KEK・国際交流センター)
6月6日	総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科大学院説明会 (秋葉原コンベンションホール)
6月19日	平成21年度後期フォトン・ファクトリー研究会公募締切
6月30日	PF, PF-AR 平成21年度第一期ユーザー運転終了
7月15日～16日	放射光共同利用実験審査委員会
8月17日～19日	全所停電
9月6日	KEK 一般公開
9月18日～19日	第四回放射光科学研究施設国際諮問委員会

*最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。

平成21年3月9日

関係機関の長 殿
関係各位大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長
下村理(公印省略)大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について(依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研08-15

- 1 公募人員
准教授 1名 (任期なし)
本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。
- 2 研究分野及び職務内容
X線吸収分光(XAFS)は放射光科学研究施設における主要な研究手法の一つであり、多くのビームラインを利用して活発に研究がなされている。時分割XAFS法など種々のXAFS法や、蛍光X線分析などを用いた研究および高感度化など関連する研究法の開発を担う中核的研究者を求める。また、これらに関連するビームライン・実験装置の開発・改良・維持及び共同利用の推進業務に従事する。
- 3 公募締切
平成21年6月5日(金)必着
- 4 着任時期
採用決定後できるだけ早い時期
- 5 選考方法
原則として面接とする。ただし第一段階の審査として書類選考を行うことがある。
面接日は決まり次第公募要項(機構ホームページ版)に掲示する。
- 6 提出書類
(1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)、②応募する職種、③可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスを明記すること。
(2) 研 究 歴
(3) 発表論文リスト ----- 和文と英文は別葉とし、共著の論文については、共著者名をすべて記入すること。また、提出する論文別刷の番号には○印を付すこと。
(4) 着任後の抱負(公募内容全般に対するものであること)
(5) 論文別刷 ----- 主要なもの5編以内
(6) その他参考資料(外部資金獲得状況、国際会議招待講演、受賞歴等)
(7) 本人に関する推薦書または参考意見書(宛名は物質構造科学研究所長下村理とすること)

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、それぞれ別葉として、各葉に氏名を記入すること。また、2件以上応募の場合は、提出書類を別々に用意すること。なお、公募締切日以前に辞退があった場合以外の提出書類の返送は致しません。
- 7 書類送付
送付先 〒305-0801
茨城県つくば市大徳1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課任用係
封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。
- 8 問い合わせ先
(1) 研究内容等について
研究主幹 野村 昌治(放射光科学第一研究系) TEL 029-864-5633 (ダイヤル)
(2) 提出書類について
総務部人事労務課任用係 TEL 029-864-5118 (ダイヤル)

研究員募集

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトンファクトリー）では、文部科学省の補助事業（先端研究施設共用促進事業）として「フォトンファクトリーの産業利用」を実施しています。この事業は、産業界と協力して研究を進めながら、産業界における放射光利用の促進を目指すものです。

1. 公募人員

研究員 1名

（単年度契約とし、審査の上で更新を行うものとする。事業は3年ごとに評価を受け、継続の可否が判断される。）

2. 研究・業務内容

以下の分野の研究支援を（研究設計から解析、解釈までを企業と共同で）行う。

- 1) 主に XAFS 法を用いた触媒構造解析、反応等に関する研究支援。
- 2) 主に XAFS 法や蛍光X線分析法を用いた各種材料、電池、環境試料などの材料解析、反応等に関する研究支援。

3. 応募資格

着任時点で博士修了または同等以上の能力を有する者。修士修了者でも能力・意欲の高い方は歓迎。放射光を用いた XAFS 研究や関連分野の研究に関する経験の有ることが望ましい。

4. 着任時期

採用決定後出来るだけ早い時期

5. 待遇等

経歴により異なるが、博士号取得者の場合、給与月額 25 ～ 35 万円程度、別途賞与有り。

6. 募集締切

平成 21 年 6 月 5 日（金）【必着】

※但し、応募状況によっては、公募を早期に締め切ることがあるので、応募に際しては事前に問い合わせを行うこと。

7. 選考方法

書類選考及び必要に応じて面接選考とする。

8. 提出書類

（1）履歴書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する業務内容及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスを明記すること。

（2）研究・業務歴

（3）発表論文リスト ----- 和文と英文は別葉とすること。

（4）着任後の抱負

（5）論文別刷 ----- 主要なもの 3 編以内

（6）本人に関する意見を伺うことの出来る方 2 名の氏名および連絡先

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべて A 4 判横書きとし、各葉に氏名を記入すること。また、提出書類の返送は致しません。

9. 書類送付先

〒 305-0801 つくば市大穂 1-1

高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光科学研究施設秘書室

封筒の表に「研究員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。

10. 問い合わせ先

野村昌治 tel 029-864-5633 e-mail: masaharu.nomrua@kek.jp

運転スケジュール(May ~ Aug. 2009)

E : ユーザー実験 B : ボーナスタイム
M : マシINSTAディ T : 立ち上げ
MA : メンテナンス SB : シングルバンチ

5月		PF	PF-AR	6月		PF	PF-AR	7月		PF	PF-AR	8月		PF	PF-AR
1(金)				1(月)	MA/M	E		1(水)				1(土)			
2(土)				2(火)	B	B		2(木)				2(日)			
3(日)				3(水)				3(金)				3(月)			
4(月)	STOP	STOP		4(木)				4(土)				4(火)			
5(火)				5(金)	E	E		5(日)				5(水)			
6(水)				6(土)				6(月)				6(木)			
7(木)				7(日)				7(火)				7(金)			
8(金)				8(月)	M	MA/M		8(水)				8(土)			
9(土)	T/M			9(火)	B	B		9(木)				9(日)			
10(日)				10(水)				10(金)				10(月)			
11(月)	E			11(木)				11(土)				11(火)			
12(火)	B	T/M		12(金)	E	E		12(日)				12(水)			
13(水)				13(土)				13(月)				13(木)			
14(木)				14(日)				14(火)				14(金)			
15(金)				15(月)	M			15(水)	STOP	STOP		15(土)	STOP	STOP	
16(土)	E	E		16(火)	B(SB)	B		16(木)				16(日)			
17(日)				17(水)				17(金)				17(月)			
18(月)				18(木)				18(土)				18(火)			
19(火)	B	B		19(金)	SB	E		19(日)				19(水)			
20(水)				20(土)				20(月)				20(木)			
21(木)				21(日)				21(火)				21(金)			
22(金)	E	E		22(月)	M	M		22(水)				22(土)			
23(土)				23(火)	B	B		23(木)				23(日)			
24(日)				24(水)				24(金)				24(月)			
25(月)	M	M		25(木)				25(土)				25(火)			
26(火)	B	B		26(金)	E	E		26(日)				26(水)			
27(水)				27(土)				27(月)				27(木)			
28(木)				28(日)				28(火)				28(金)			
29(金)	E	E		29(月)	M	M		29(水)				29(土)			
30(土)				30(火)				30(木)				30(日)			
31(日)								31(金)				31(月)			

総研大夏期実習
6月1日~3日

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<http://pfwww.kek.jp/indexj.html>)の「PFの運転状況/長期スケジュール」(<http://pfwww.kek.jp/unten/titlej.html>)をご覧ください。